

Active! vaultSS

Active! vault SS

Active! vault SS 管理者マニュアル

目次

第1章	サービス概要	1
1	サービス紹介	1
1.1	Active! vault SS とは	1
1.2	Active! vault SS の特徴	1
1.2.1	アクセスコントロール管理	1
2	対応環境	2
2.1	検証済みブラウザと対応OSについて	2
第2章	Active! vault SS画面設定	3
1	アーカイブ管理者及び検索ユーザ画面へのログイン	4
1.1	ログインURLとログイン方法	4
2	共通動作	5
2.1	ヘッダ情報群について	5
2.2	各種設定部について	6
3	利用状況	7
3.1	アーカイブデータ保存期間	7
4	アーカイブ設定	8
4.1	アーカイブ対象	8
4.1.1	基本設定	8
5	ユーザ設定	9
5.1	検索ユーザ設定	9
5.1.1	検索ユーザ 新規登録/更新	9
5.1.2	ログイン制限	10
5.1.3	検索機能・登録一覧	12
6	グループ管理	13
6.1	グループ 管理	13
6.1.1	グループ 新規登録/更新	13
7	履歴	15
7.1	ログイン履歴	15
7.1.1	検索機能/表示一覧/CSVダウンロード	15
7.2	システム操作履歴	16
7.2.1	検索機能/表示一覧/CSVダウンロード	16
7.3	検索履歴	18
7.3.1	検索機能/表示一覧/CSVダウンロード	18
8	プロパティ	19
8.1	基本設定	19
8.2	通知設定	20
9	マニュアルのダウンロード	21
付録A	よくあるご質問	23
1	Active! vault SSでのQ & A	23
1.1	キーワード検索は何を基準にして検索されているのですか？	23
1.2	検索ユーザは何人まで作成可能ですか？	23
1.3	アーカイブできるメールは、1通あたりどのくらいの容量まで可能ですか？	23
1.4	検索ユーザ3人が同時に検索することは可能ですか？	23
1.5	管理者のプロパティで設定した通知メールはアーカイブされるのですか？	24
1.6	ユーザ検索の配送画面よりメールを再配送した場合はアーカイブされるのですか？	24
1.7	スパムメールはアーカイブされるのですか？	24
1.8	ウィルスメールはアーカイブされるのですか？	24

1.9	スパムやウィルス系のメール判定の基準は？	24
-----	--------------------------------	----

第1章

サービス概要

1 サービス紹介

1.1 Active!vault SS とは

Active!vault SSは、日本におけるeメールソリューション専門企業の老舗として、メールシステムの豊富な導入実績をベースに、当社がお客様により良いメール環境を提供するために開発された国内開発のメールアーカイブサービスです。J-SOX法やメールを取り巻く環境に対するコンプライアンス整備においてActive!vault SSは大変有効です。

1.2 Active!vault SS の特徴

- 受信したメールを確実にアーカイブし、必要な時に検索・配送まで可能
- メール保存コスト(ディスク消費量)を極力最小限に抑える為の設計仕様
- 弊社SSサービスActive!gate SSとの連携により、メールの誤送信を防止しながら、送信されたメールをアーカイブできるので、メール情報管理体制のより一層の強化を実現
- 弊社メール統合サービスActive!world や Microsoft 365、Google Workspaceとの連携が可能
- 様々なポリシー制御及びアクセスコントロールが可能で、機密データ(電子メール)の取り扱いにおいて、各種運用方針に合わせて柔軟に対応可能
- J-SOX法やコンプライアンス整備において様々な要件及び課題解決に貢献します。



注意

Google Workspace、Active! world、Microsoft 365 連携においては、ある条件下では同メールが2重にアーカイブされる場合や他構成によっては制限事項がございます。詳しくは後述 23ページ：よくあるご質問をご覧ください。

1.2.1 アクセスコントロール管理

現在、電子メールを媒体とした情報交換は、公私に渡り必要不可欠な物となっています。送受信されるメールの中には重要な機密データが含まれている事も少なくありません。そういった中、Active!vault SSでは現存するアーカイブサービスにおいて、これまで軽視されてきたセキュリティに重点を置いた設計に基づき開発を行いました。

その代表的な機能としてアクセスコントロールがあります。機能の概要としては検索可能な範囲の定義、検索ユーザの定義、検索を含めた設定変更などの全ての作業のログ化で構成されています。各種設定においても見易くわかり易いインターフェースにより簡単に設定する事が可能です。また、アクセスコントロールを細かく設定する事なく、必要となる数箇所設定をするだけで、利用する事も可能です。

2 対応環境

2.1 検証済みブラウザと対応OSについて

検証済みブラウザと対応OSは以下の通りです。

ブラウザ名	対応OS
Windows Internet Explorer	WindowsOSのみ対応
Mozilla Firefox	WindowsOSおよびMacOS共に対応
Google Chrome	WindowsOSおよびMacOS共に対応
Safari	MacOSのみ対応
Microsoft Edge	WindowsOSのみ対応



注意

Active!vault SSの各バージョンにおける動作検証実施時の最新バージョンで確認しています。検証を実施したバージョンより新しいブラウザで不具合が確認された場合は、随時対応を行います。検証を実施したバージョンより古いブラウザでは、制限事項となる場合があります。

検証済みブラウザおよび対応OSの最新状況については、下記URLをご参照ください。

<https://www.quality.co.jp/product/av/spec.html>

第2章

Active!vault SS画面設定

Active!vault SSにはシステム全体の設定を行う為の管理者用の『アーカイブ管理者画面』、アーカイブされたメールの検索を行う『検索ユーザ画面』を提供しています。各画面での操作に際しブラウザを利用しログイン認証を行う必要があります。順を追って各画面の説明と必要な入力項目等をご説明致します。

1 アーカイブ管理者及び検索ユーザ画面へのログイン

1.1 ログインURLとログイン方法

次のURLをブラウザに入力してログインします。

【URL】https^a://xxxxxxx.activevault-ss.jp^b/vault/archive/login

^a サービス開始と同時にSSLサーバ証明書に関する設定を済ませておりますのでHTTPSプロトコルで接続できます。

^b xxxxxxx.activevault-ss.jpはサービス開通確認書に記載の [お客様ID] と同一になります。



注意

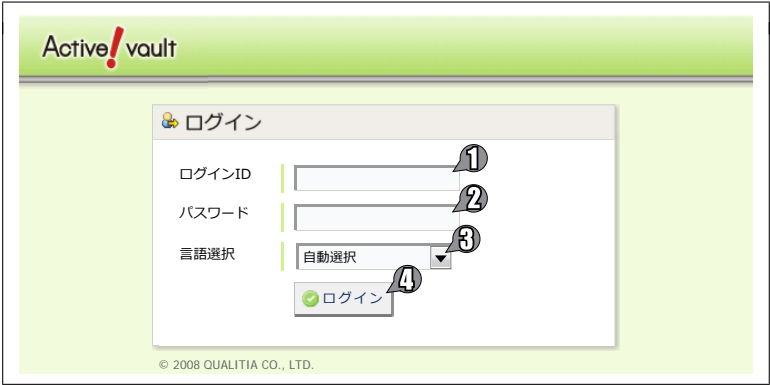
Active!vault SSのログイン情報は、ご契約者様宛てにログインURL、ログインID、パスワード記載の資料またはメールが弊社より送付されますので、そちらに記載のURLでログインして下さい。記載の資料は大切に保管して下さい。



メモ

検索ユーザの画面は上記の同じURLでログイン可能です。

ログイン画面にて「ログインID」と「パスワード」で管理者なのか検索ユーザなのかを判断しログイン後の画面が変わります。本マニュアルでは管理者でログイン後の各画面の説明や設定方法を中心に説明を進めていきます。

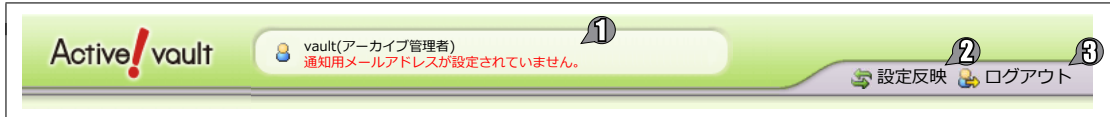


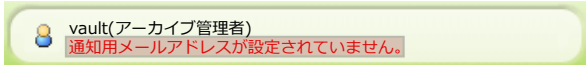
①	【ログインID】
	アーカイブ管理者または検索ユーザ専用のログインID を入力します。
②	【パスワード】
	パスワードを入力します。
③	【言語選択】
	自動選択/日本語/英語/中国語のいずれかから選択します。自動選択の場合、使用されているブラウザにて設定されている言語の、優先順位が高い言語から参照します。
④	【ログイン ボタン】
	認証を行います
	<div> 注意</div> <p>検索ユーザはサービス開始直後はアカウントが存在しない為、ログインできません。 アカウントの作成は管理者画面の「ユーザ設定」で行います。 詳細は、「9ページ：検索ユーザ設定」をご覧ください。</p>

2 共通動作

2.1 ヘッド情報群について

Active!vault SSのウェブ画面（アーカイブ管理者画面）における共通動作についてご説明致します。
下記画面は、ログイン後の管理者画面にてページ上部に存在するヘッド情報群です。



①	【ログインID名】 現在この画面にログインしているログインID と管理者タイプが表示されます。 表示形式： ログインID（管理者タイプ） 注意 ログイン中の管理者アカウントで通知用メールアドレスが設定されていないと警告が表示されます。  通知用メールアドレスは「プロパティ」画面にて設定します。詳細は、「19ページ：プロパティ」をご覧ください。
②	【設定反映 ボタン】 全ての画面の右上部に 設定反映 ボタンがあります。Active!vault SSの設定は各設定画面の設定項目に入力または選択設定の上、最後に 設定反映 ボタンを実行する必要があります。 OK ボタンがある設定画面もありますが、これは入力または選択設定したデータを確定する為のもので、設定自体を反映させる為にはこの 設定反映 ボタンを実行します。
③	【ログアウトボタン】 画面からログアウトする場合に実行します。ブラウザを閉じて終了しても問題はありません。

2.2 各種設定部について

Active/vault SSのウェブ画面（アーカイブ管理者画面）での各種設定画面は管理者がどの設定画面にいても同じ感覚で使えるよう、共通のインターフェースを実装しています。

各種設定画面は大きく分けて「設定項目部」「検索機能部」「登録一覧部」に分かれており、「設定を行い新規登録する」「登録された情報の検索を行う」「登録された情報を更新・キャンセル・削除する」等に分類されます。設定画面によっては「検索機能部」が存在しない、「登録一覧部」が存在しない画面もあります。

ここでは「グループ管理」画面を例としてご説明致します。（[下図参照](#)）
各種設定画面の詳細な使用方法については、後述の各章をご覧ください。

- | | |
|---|--|
| ① | 【見出し】
現在設定を行っている画面のヘッダ情報です。
画面左にあります「MENU」と対になっており、現在どこの何の設定を行っているかが分かります。 |
| ② | 【設定項目】
設定項目では、管理者が各種設定を行い、 追加 ボタンを押す事により、設定の新規登録を行います。登録された情報は、「登録一覧」④に反映されます。

設定によっては登録後に設定反映ボタンを実行する必要があります。 |
| ③ | 【検索機能】
検索機能では「登録一覧」④の表示件数の変更や、登録されている情報の検索を行い抽出された結果を反映させます。これにより膨大な量の設定やポリシーをスムーズに検索する事が可能となります。 |
| ④ | 【登録一覧】
管理者が登録した各種設定の内容を一覧で表示します。また、登録された情報をクリックする事で、「設定項目」②に情報が再度反映され、書き換える事（更新）が可能です。書き換え途中で元の設定に戻す場合は「キャンセル」を行います。

また左にありますチェックボックスを選択し 削除 ボタンを押す事で、選択した設定情報を削除する事が出来ます。 |



以上で、共通動作の説明を終了します。

次ページより画面左にありますMENU部より、設定画面の詳細についてご説明致します。

3

利用状況

アーカイブ管理者画面【利用状況】

3.1 アーカイブデータ保存期間

利用状況

アーカイブデータ 保存期間

保存期間 | 1825日

アーカイブデータ

アーカイブメール通数 | 2,448通

1

【保存期間】

契約されたプランでのアーカイブデータ保存期間を表示します。

2

【アーカイブメール通数】

現在までのアーカイブされたメール数を表示します。

4 アーカイブ設定

アーカイブ管理者画面【アーカイブ設定】

アーカイブ対象に関する設定を行います。

4.1 アーカイブ対象

アーカイブ管理者画面【アーカイブ設定】【アーカイブ対象】

Active!vault SSでアーカイブ対象のメールについて設定します。

4.1.1 基本設定

アーカイブ設定 / アーカイブ対象

基本設定

アーカイブする対象を限定することが出来ます。
アーカイブ対象詳細では、送受信したメールのアーカイブ可否を設定することが出来ます。

アーカイブ対象詳細

- ☒ 送信メールをアーカイブする ①
- ☒ 受信メールをアーカイブする
どちらもチェックしない場合は、何もアーカイブされません。
- ☐ 内部から内部へのメールをアーカイブしない
内部とはドメイン管理画面で登録されたドメインとなります。

OK ②

【基本設定】

①	【アーカイブ対象詳細】 アーカイブする対象を「受信メールのみ」にするか、「送信メールのみ」にするか、または「両方アーカイブ」するかを決定する設定項目です。 送信メールをアーカイブ : 送信メールをアーカイブ対象とします。 受信メールをアーカイブ : 受信メールをアーカイブ対象とします。 どちらもチェックしない場合は、何もアーカイブされません。 内部から内部へのメールをアーカイブしない : 内部とは当サービスをご利用されているドメインとなります。 社内のメールをアーカイブしない時などに有効です。
②	【OK ボタン】 ページ内各設定を反映させる為にクリックします。



メモ

Active!vault SS時の「アーカイブ対象詳細」の動きについて
Google Workspace、Microsoft 365 の連携によって変わります。

詳細は、別紙「Google Workspace 連携マニュアル または Microsoft 365連携マニュアル」の「アーカイブ時の対応表」をご覧ください。対応表をご覧の上、お客様の環境に合わせた設定を行って下さい。

5 ユーザ設定

アーカイブ管理者画面【ユーザ設定】

Active!vault SSで検索時に利用するユーザ（検索ユーザ）のアカウントの設定を行います。

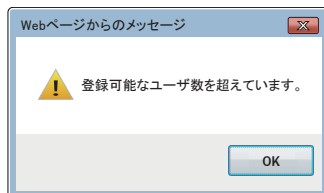
5.1 検索ユーザ設定

アーカイブ管理者画面【ユーザ設定】>【検索ユーザ設定】



注意

- 1.Active!vault SSでは検索ユーザの作成人数は上限で **3名** までとなっております。
3名を超える人数を設定した場合、下記の様な警告文でアカウント作成が出来ない事をお知らせします。



- 2.Active!vault SSでは検索ユーザの検索対象の範囲を変更しても、ログインし直さない限り、検索ユーザは元の範囲で検索を行います。予めご了承ください。
- 3.Active!vault SSでは検索ユーザが検索画面にログインしている最中に、そのアカウントを無効にしても、強制的なログアウトにはなりません。予めご了承ください。

5.1.1 検索ユーザ 新規登録/更新

検索ユーザの設定を行います。検索ユーザとは検索のみを行うことが出来るユーザです。

【基本情報】

①	【ユーザ名】 登録一覧などで識別し易い名前（全角日本語も可能）を入力して下さい。
②	【ログインID】 ログイン認証に利用するIDを入力します。
③	【パスワード】 ログイン時の認証パスワードを入力します。
④	【パスワード（確認）】 同じパスワードを確認の為、入力します。

⑤	【有効/無効】 上記で設定されたユーザに対して有効か無効かを設定します。無効の場合、そのユーザではログインは出来ません。
---	--

【検索対象】

⑥	【全てのメールを検索対象とする】 全てのメールを検索対象とします。 全てのメールを検索対象とした場合のみ、検索画面にて「メールアーカイブビューアー用検索キー」が表示されます。詳しくは「検索ユーザマニュアル」をご覧ください。
⑦	【ドメイン/メールアドレス】 検索対象とする、ドメイン、メールアドレスを入力します。 (「空白」、「,」又は「改行」区切りで列挙します。)
⑧	【グループ】 「グループ管理」で予めグループを設定している場合は「グループ一覧」に登録されたグループが表示されますので、その中から選択します。 グループ設定がないと本設定項目は表示されません。 追加 ボタン : グループ一覧から選択したグループを追加します。 削除 ボタン : 選択したグループ一覧からグループを削除します。

5.1.2 ログイン制限

同メニューにあります、ログイン制限についてご説明致します。

【ログイン制限】

①	【ログイン許可IP アドレス】 ログインを許可するIP アドレス又はネットワークアドレスを入力します。登録のない状態の場合、全てに許可を与える事になります。
②	【+ ボタン】 2 つ以上の条件を設定する際に、これをクリックする事で、設定メニューが下段に表示されます。
③	【- ボタン】 設定された又は設定途中の内容を削除する場合にクリックします。
④	【ログイン可能時間帯】 各チェックボックスにチェックを入れると設定メニューが表示されます。 期間指定 : (表示されたカレンダーアイコンから期間を設定します) 曜日指定 : (表示された曜日のチェックボックスをチェックし設定します) 時間帯指定 : (表示された選択ボックスから時間帯を選択し設定します)
⑤	【+ ボタン】 2 つ以上の条件を設定する際に、これをクリックする事で、設定メニューが下段に表示されます。
⑥	【- ボタン】 設定された又は設定途中の内容を削除する場合にクリックします。
⑦	【追加 ボタン】 入力した内容で登録します。
⑧	【更新 ボタン】 一覧から選択した設定を編集した内容で更新登録します。

9	【キャンセル ボタン】 編集途中でキャンセルしたい時クリックします。新規登録画面へ切り替わります。
---	---

5.1.3 検索機能・登録一覧

同メニューの下部にあります、検索機能と、登録された一覧画面のご説明を致します。


ユーザ名	ログインID	検索対象	ログイン許可IP	ログイン可能時間帯	有効/無効	承認
<input type="checkbox"/> A001_TANAKA	A001_TANAKA	全て			無効	承認
<input type="checkbox"/> A002_KOBAYASHI	A002_KOBAYASHI	全て	172.16.1.101	曜日:月火水木金(全て~)	無効	承認
<input type="checkbox"/> A003_SUMIDA	A003_SUMIDA	全て			無効	承認

【検索機能】

登録された情報に対し検索を行える機能部です。下記設定により様々な方法で検索が行えます。

1	【[キーワード対象項目]メニュー】 右入力ボックスのキーワード対象となる項目を(ログインID/ユーザ名/検索対象/検索対象が全て)から選択します。
2	【キーワード入力】 検索キーワードを入力します。
3	【 検索 ボタン】 一覧より、検索条件及び入力されたキーワードを使った抽出表示を行います。検索は指定が行われている項目を使ったAND 条件で行われます。
4	【[表示]メニュー】 1 ページあたりに表示できる検索結果数を設定します。

【登録一覧】

5	【ユーザ名】 登録されたユーザ名の表示。
6	【ログインID】 登録されたログインIDの表示。
7	【検索対象】 登録された検索対象の表示。
8	【ログイン許可IP】 登録されたログイン許可IPの表示。
9	【ログイン可能時間帯】 登録されたログイン可能時間帯の表示。
10	【有効/無効】 設定の有効が無効かを表示。無効の場合、そのユーザではログインは出来ません。
11	【承認】 承認されているか、承認待ちの状態かを表示。承認待ちの場合、そのユーザではログインは出来ません。 <div> メモ Active!vault SSでは、デフォルトで[承認]の状態で作成されます。</div>
12	【 削除 ボタン】 一覧の中からチェックボックス <input checked="" type="checkbox"/> にチェックをして、実行する事により登録リストから削除されます。
13	【 <input checked="" type="checkbox"/> ボックス：最上段】 チェックする事でページ内の全設定リストを一括してチェックする事が可能です。
14	【 <input type="checkbox"/> / 1】 複数ページに渡る場合ページ数を選択し表示させます。

6 グループ管理

アーカイブ管理者画面【グループ管理】

検索対象(ドメインやメールアドレス等)を特定のグループに分け管理します。グループ分けを行わない事も可能です。

6.1 グループ 管理

グループを作成する事で、検索対象とするドメインやメールアドレスをグループ単位で制御する事が可能となります。

6.1.1 グループ 新規登録/更新

グループ管理

グループ 新規登録

グループ名 [営業チームB]グループ

グループのメンバー c001@ah100.example.jp
c002@ah100.example.jp
c003@ah100.example.jp

追加 更新 キャンセル

グループ名 検索 表示 10 件

グループ名	メールアドレス数	ドメイン数
[営業チームA]グループ	3	0
[経営管理グループ]	5	0

削除 ページ 1 / 1


- 【グループ名】**
作成するグループ名を入力します。
- 【グループのメンバー】**
登録するグループのメンバーを入力します。 (「空白」,「,」又は「改行」区切りで列挙します。)
- 【追加 ボタン】**
入力した内容で登録します。
- 【更新 ボタン】**
一覧から選択した設定を編集した内容で更新登録します。
- 【キャンセル ボタン】**
編集途中でキャンセルしたい時クリックします。新規登録画面へ切り替わります。




次ページでは、同画像に記載されています、【検索機能】と【登録一覧】、【インポート/エクスポート】についてご説明致します。

【検索機能】

登録された情報に対し検索を行える機能部です。下記設定により様々な方法で検索が行えます。

⑥	【[キーワード対象項目]メニュー】 右入力ボックスのキーワード対象となる項目を(グループ名/ドメイン/メールアドレス)から選択します。
⑦	【キーワード入力】 検索キーワードを入力します。
⑧	【ボタン】 一覧より、検索条件及び入力されたキーワードを使った抽出表示を行います。検索は指定が行われている項目を使ったAND条件で行われます。
⑨	【[表示]メニュー】 1ページあたりに表示できる検索結果数を設定します。

【登録一覧】

⑩	【グループ名】 登録されたグループ名の表示。
⑪	【メールアドレス数】 登録されたメールアドレス数の表示。
⑫	【ドメイン数】 グループとして、ドメインを登録されたドメイン数の表示。
⑬	【ボタン】 一覧の中からチェックボックス <input checked="" type="checkbox"/> にチェックをして、実行する事により登録リストから削除されます。
⑭	【<input checked="" type="checkbox"/>ボックス：最上段】 チェックする事でページ内の全設定リストを一括してチェックする事が可能です。

【インポート/エクスポート】

⑮	【インポート】 設定内容が記された設定情報ファイル(CSV形式)からインポートして一括登録をします。
⑯	【エクスポート】 設定内容が記された設定情報ファイル(CSV形式)をエクスポートします。

7 履歴

アーカイブ管理者画面【履歴】

Active!vault SSで行われた作業を種別に振り分け、履歴表示を行います。履歴情報の中から様々な項目を組み合わせ、検索する事が可能です。

7.1 ログイン履歴

アーカイブ管理者画面【履歴】【ログイン履歴】

画面上部は履歴の中から検索を行う為の設定画面で、下部は時系列で履歴を表示します。

7.1.1 検索機能/表示一覧/CSVダウンロード

履歴 / ログイン履歴

CSVダウンロード

期間: 2012-02-03 ~ 2012-02-10 全て

時間: 全て 時 全て 分 ~ 全て 時 全て 分

ユーザ名:

ログインID:

ログイン可否: --

検索 表示 5 件

番号	日時	ログインID(ユーザ名)	IPアドレス	ログイン可否	ログイン失敗の原因
1	2012-02-10 19:07:51	allall(allall)	172.168.X.XX	ログイン成功	
2	2012-02-10 19:07:47	aivitstandard()	192.125.X.XX	ログイン失敗	ID不正
3	2012-02-10 19:07:20	pass9999()	192.125.X.XX	ログイン失敗	ID不正
4	2012-02-10 19:07:08	admin(admin)	192.125.X.XX	ログイン失敗	パスワード不正
5	2012-02-10 19:06:40	allall(allall)	172.168.X.XX	ログイン成功	


ページ 1 / 5

【検索機能】

登録された情報に対し検索を行える機能部です。下記設定により様々な方法で検索が行えます。

①	【期間】
	検索対象期間をカレンダーアイコンをクリックし日付を設定または[全て]を選択します。
②	【[時間]】
	検索対象の時間を設定します。
③	【ユーザ名】
	検索対象のユーザ名を入力します。
④	【ログインID】
	検索対象のログインIDを入力します。
⑤	【[ログイン可否]】
	検索対象をログインの（成功/失敗）から設定します。
⑥	【検索ボタン】
	一覧より、検索条件及び入力されたキーワードを使った抽出表示を行います。検索は指定が行われている項目を使ったAND条件で行われます。
⑦	【[表示]メニュー】
	1ページあたりに表示できる検索結果数を設定します。

【表示一覧】

8	【番号】
ログイン毎に降順で付加されます。最新の履歴が番号[1]です。	
9	【日時】
ログイン日時の表示。	
10	【ログインID (ユーザ名)】
ログインしたログインID (ユーザ名) の表示。	
11	【IP アドレス】
ログイン元のIP アドレスの表示。	
12	【ログイン可否】
ログインの成功/失敗の表示。	
13	【ログイン失敗の原因】
ログインに失敗した時の原因を表示。	
14	【  / 1】
複数ページに渡る場合ページ数を選択し表示させます。	

【CSV ダウンロード】

15	【  CSVダウンロード ボタン】
保存されているログイン履歴すべてをCSV形式にダウンロードを行います。	

7.2 システム操作履歴

アーカイブ管理者画面【履歴】>【システム操作履歴】

画面上部は履歴の中から検索を行う為の設定画面で、下部は時系列で履歴を表示します。

7.2.1 検索機能/表示一覧/CSVダウンロード

履歴 / システム操作履歴

CSVダウンロード

期間

2012-02-06 ~ 2012-02-13

全て

時間

全て時 全て分 ~ 全て時 全て分

ユーザ名

allall

ログインID

カテゴリ

--

検索

表示 5 件


番号	日時	ログインID(ユーザ名)	カテゴリ	内容	IPアドレス
1	2012-02-10 18:28:37	allall(allall)	アーカイブサーバ設定	アーカイブサーバ「172.16.8.XXX」を「192.11.5.XXX」に変更	172.168.X.XX
2	2012-02-10 14:18:33	allall(allall)	アーカイブポリシー	ポリシー「[社内アーカイブ]example.jp」を追加	172.168.X.XX
3	2012-02-10 10:47:33	allall(allall)	グループ管理	グループ「[営業チームA]グループ」を追加	172.168.X.XX
4	2012-02-10 10:46:21	allall(allall)	グループ管理	グループ「[経営管理グループ]」を追加	172.168.X.XX
5	2012-02-09 20:04:20	allall(allall)	管理者権限設定・管理者管理	管理者「alladmin」を追加	172.168.X.XX

ページ 1 / 5


【検索機能】

登録された情報に対し検索を行える機能部です。下記設定により様々な方法で検索が行えます。

1	【期間】
検索対象期間をカレンダーアイコンをクリックし日付を設定または[全て]を選択します。	
2	【[時間]】
検索対象の時間を設定します。	

③	【ユーザ名】 検索対象のユーザ名を入力します。
④	【ログインID】 検索対象のログインID を入力します。
⑤	【カテゴリ】 検索対象をカテゴリ別で設定します。 (環境設定/アーカイブ対象/検索ユーザ管理/検索ユーザ/履歴/プロパティ)
	<div>  メモ </div> <div> Active!vault SSでは「アーカイブ対象」はご利用頂けません。 </div>
⑥	【 検索 ボタン】 一覧より、検索条件及び入力されたキーワードを使った抽出表示を行います。検索は指定が行われている項目を使ったAND 条件で行われます。
⑦	【表示メニュー】 1 ページあたりに表示できる検索結果数を設定します。

【表示一覧】

⑧	【番号】 システム操作を行った毎に降順で付加されます。最新の履歴が番号[1]です。
⑨	【日時】 システム操作を行った日時の表示。
⑩	【ログインID (ユーザ名)】 ログインしたログインID (ユーザ名) の表示。
⑪	【カテゴリ】 ログインユーザの管理者区分 (環境設定/アーカイブ対象/検索ユーザ管理/検索ユーザ/履歴/プロパティ)
⑫	【内容】 操作を行った内容の表示。
⑬	【IP アドレス】 システム操作を行った IP アドレスの表示。
⑭	【  /1】 複数ページに渡る場合ページ数を選択し表示させます。

【CSV ダウンロード】

⑮	【 CSV ダウンロード ボタン】 保存されているシステム操作履歴すべてをCSV 形式にダウンロードを行います。
---	--

7.3 検索履歴

アーカイブ管理者画面【履歴】>【検索履歴】

画面上部は履歴の中から検索を行う為の設定画面で、下部は時系列で履歴を表示します。

7.3.1 検索機能/表示一覧/CSVダウンロード

履歴 / 検索履歴

CSVダウンロード

期間

2012-02-06 ~ 2012-02-13

全て

時間

全て時 全て分 ~ 全て時 全て分

ユーザ名

ログインID

検索

表示

10

件

7

8

9

10

11

12

番号	日時	ログインID(ユーザ名)	内容	IPアドレス
1	2012-02-13 11:51:19	allall (allall)	受信期間が「全て」 AND キーワードが「資料」	172.168.X.XX
2	2012-02-13 11:50:58	allall (allall)	受信期間が「全て」 AND ポリシーが「[社内アーカイブ]example.jp」	172.168.X.XX
3	2012-02-13 11:50:50	allall (allall)	受信期間が「全て」 AND メールアドレスが「example.jp」	172.168.X.XX
4	2012-02-13 11:50:35	allall (allall)	受信期間が「全て」 AND メールアドレスが「ah80.example.jp」	172.168.X.XX
5	2012-02-13 11:50:22	allall (allall)	受信期間が「全て」 AND メールアドレスが「ah80.example.jp」	172.168.X.XX
6	2012-02-10 14:22:06	allall (allall)	受信期間が「2012-02-10 00時 ~ 2012-02-11 00時」 AND ポリシーが「[社内アーカイブ]example.jp」	172.168.X.XX
7	2012-02-09 20:06:47	allall (allall)	受信期間が「2012-02-09 00時 ~ 2012-02-10 00時」 AND メールアドレスが「」	172.168.X.XX
8	2012-02-09 20:05:59	allall (allall)	受信期間が「2012-02-09 00時 ~ 2012-02-10 00時」 AND メールアドレスが「」	172.168.X.XX

ページ 1 / 5

【検索機能】


登録された情報に対し検索を行える機能部です。下記設定により様々な方法で検索が行えます。

①	【期間】
	検索対象期間をカレンダーアイコンをクリックし日付を設定または[全て]を選択します。
②	【[時間]】
	検索対象の時間を設定します。
③	【ユーザ名】
	検索対象のユーザ名を入力します。
④	【ログインID】
	検索対象のログインID を入力します。
⑤	【検索ボタン】
	一覧より、検索条件及び入力されたキーワードを使った抽出表示を行います。検索は指定が行われている項目を使ったAND 条件で行われます。
⑥	【[表示]メニュー】
	1 ページあたりに表示できる検索結果数を設定します。




次ページでは、同画像に記載されています、【表示一覧】と【CSV ダウンロード】についてご説明致します。

【表示一覧】

7	【番号】
	検索を行った毎に降順で付加されます。最新の履歴が番号[1]です。
8	【日時】
	検索を行った日時の表示。
9	【ログインID (ユーザ名)】
	ログインしたログインID (ユーザ名) の表示。
10	【内容】
	検索を行った内容の表示。
11	【IP アドレス】
	検索を行った IP アドレスの表示。
12	【  / 1】
	複数ページに渡る場合ページ数を選択し表示させます。

【CSV ダウンロード】

13	【  ボタン】
	保存されている検索履歴すべてをCSV 形式にダウンロードを行います。

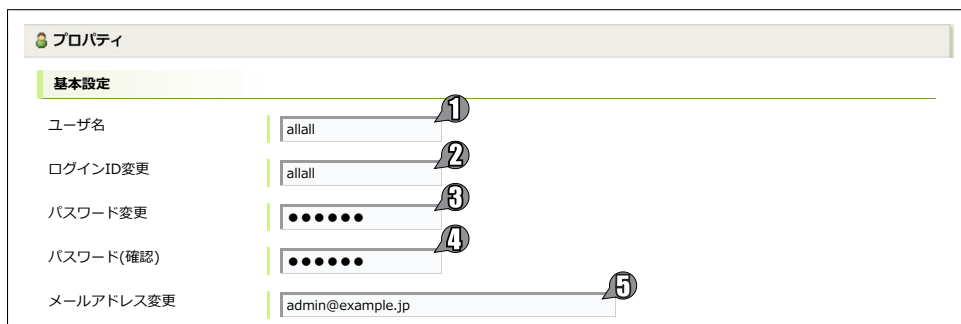
8 プロパティ

アーカイブ管理者画面【プロパティ】

現在ログイン中の管理者アカウント情報の変更や、各種アクション時のタイミングで発送される通知メールの設定を行います。

8.1 基本設定

画面上部：基本設定をご説明致します。管理者アカウント情報の変更欄になります。



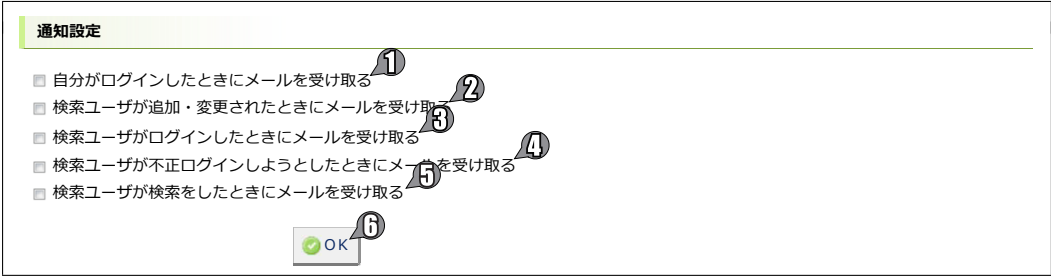
ここでは、画面上部の基本設定をご説明します。管理者アカウント情報の確認や変更はこの画面で行います。

【基本設定】

1	【ユーザ名】
	ユーザ名を変更します。
2	【ログインID変更】
	ログイン認証に利用するID を変更します。
3	【パスワード変更】
	ログイン時の認証パスワードを変更します。
4	【パスワード (確認)】
	同じパスワードを確認の為、変更します。
5	【メールアドレス変更】
	管理者アカウントを利用するユーザのメールアドレスを登録・変更します。「,」カンマ区切りで複数登録可能です。 例) admin@example.jp,root@example.jp

8.2 通知設定

画面下部：通知設定をご説明致します。各アクション時の通知メール設定です。

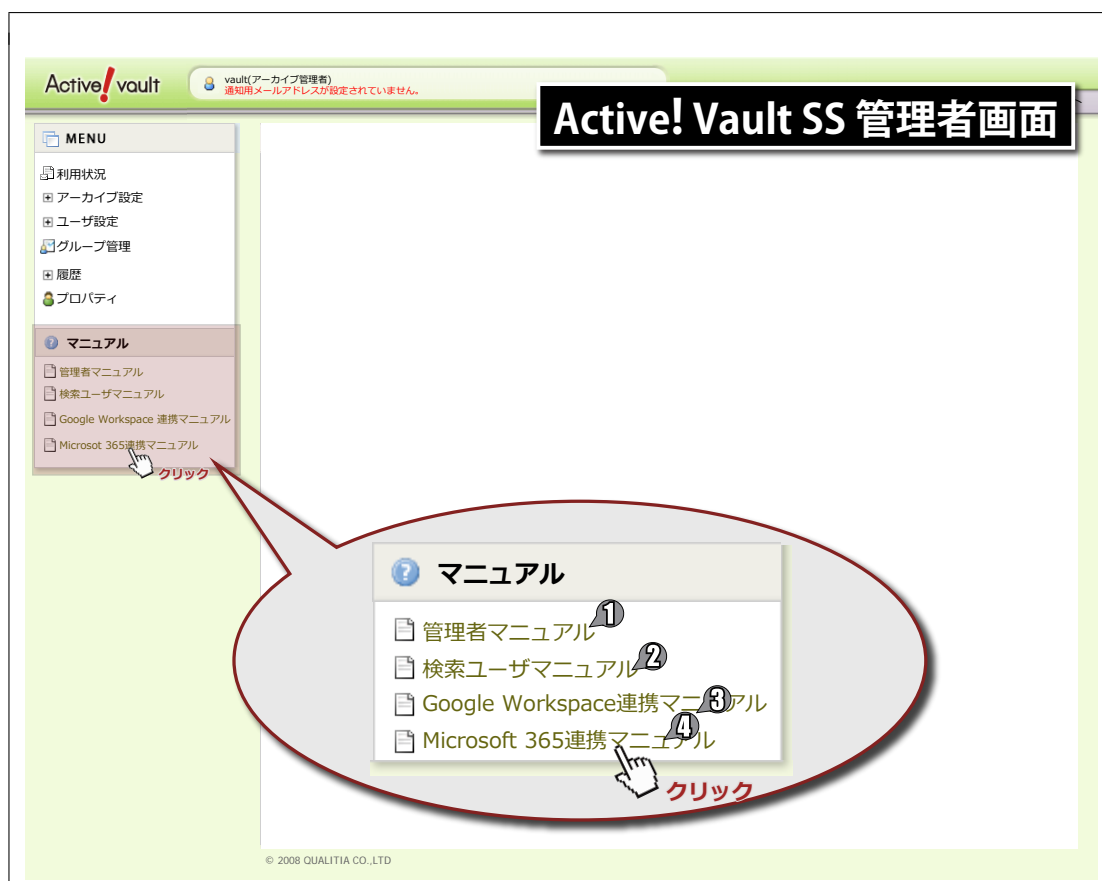


【通知設定】

①	【自分がログインしたときにメールを受け取る】 管理者アカウントを使用して管理者画面へログインした時(ログイン成功した時)通知メールを 発送する。
②	【検索ユーザが追加・変更されたときにメールを受け取る】 検索ユーザが追加または変更された時に通知メールを発送する。
③	【検索ユーザがログインしたときにメールを受け取る】 検索ユーザが検索ユーザアカウントを使用して、検索ユーザ画面へログインした時（ログイン 成功した時）通知メールを発送する。
④	【検索ユーザが不正ログインしようとしたときにメールを受け取る】 検索ユーザが検索ユーザアカウントを使用して、検索ユーザ画面へログインした時（ログイン 失敗した時）通知メールを発送する。
⑤	【検索ユーザが検索をしたときにメールを受け取る】 検索ユーザが検索を行ったときにメールを発送する。
⑥	【OK ボタン】 入力した内容を確定します。

9 マニュアルのダウンロード

Active!vault SSサービスをご利用するにあたり、各画面の操作方法、機能の説明は各マニュアルをご参照下さい。



①	【管理者マニュアル】 正式名称：Active! vault SS 管理者マニュアル 現在ご覧頂いている Active!vault SS 管理者画面の説明や検索ユーザの作成方法、Q&A等が記載されているマニュアルです。
②	【検索ユーザマニュアル】 正式名称：Active! vault SS 検索ユーザ用マニュアル Active!vault SS 管理者画面から作成した、検索ユーザ用の画面の説明や、アーカイブされたデータ（メール）の検索方法、Q&A等が記載されているマニュアルです。
③	【Google Workspace 連携マニュアル】 正式名称：Google Workspace ユーザ向けSSサービス連携手順マニュアル 弊社サービスとGoogle Workspace をご利用されているお客様向けの、弊社サービスとの連携方法、および連携する際の注意事項をまとめたマニュアルです。 Google Workspace をご利用されているお客様は必ず一度ご確認をお願い致します。

4	<p>【Microsoft 365 連携マニュアル】</p> <p>正式名称：Microsoft 365ユーザ向けActiveVault SS(ジャーナル方式)との連携手順マニュアル</p> <p>弊社サービスとMicrosoft 365をご利用されているお客様向けの、弊社サービスとの連携方法、および連携する際の注意事項をまとめたマニュアルです。</p> <p>Microsoft 365をご利用されているお客様は必ず一度ご確認をお願い致します。</p>
---	--

付録A

よくあるご質問

Active!gate SSとの連携や、Google Workspaceとの連携他、機能詳細の際に発生するお問い合わせの多いご質問と回答を章ごとに掲載しています。お問い合わせ頂く前に一度、ご確認ください。

1 Active! vault SSでのQ & A

Active!vault SSをご利用の際に発生するお問い合わせの多いご質問と回答を掲載しています。

1.1 キーワード検索は何を基準にして検索されているのですか？

A：検索の基準として、弊社では[Multi]と言う検索タイプを用意しております。
Multi については下記をご参照下さい。

- **Multi**とは：主に多言語化に対応した検索タイプです。日本語・中国語（普通話）・英語等のやり取りが多い環境にてお勧めしているタイプです。特に中国語は繁体字・簡体字ともに検索可能です。

【内部動作】

入力されたメールに対して、日本語と中国語の場合、形態素解析を行い単語の要素に分割します。
中国語（普通話）は繁体字・簡体字に対応しています。
日本語・中国語（普通話）・英語以外でbigramに適した言語の場合はbigramにて検索を行います。

【検索の注意点】

- 日本語として検索した単語でも、中国語にて同じ単語の簡体字や繁体字があった場合には同一の単語として検索されてしまう場合があります。例えば日本語での「学生」と言う単語は中国語の簡体字でも存在しており、同一の単語として検索されます。またこの場合、繁体字では「學生」となりますが、こちらも検索の対象となります。

- 辞書に登録されていない単語はインデックス対象にも検索対象にもなりませんので、出力結果に含まれません。
例えば、「ですと」で検索した場合、「ですと」という日本語は存在しないので、インデックスとして登録されておらず、検索することが出来ません。

1.2 検索ユーザは何人まで作成可能ですか？

A：Active!vault SSでは 最大3人までとなっております。

1.3 アーカイブできるメールは、1通あたりどのくらいの容量まで可能ですか？

A：Google Workspace、Microsoft 365 の連携によって変わります。

詳細は、別紙「Google Workspace 連携マニュアル または Microsoft 365連携マニュアル」をご覧ください。

1.4 検索ユーザ3人が同時に検索することは可能ですか？

A：出来ません。

1.5 管理者のプロパティで設定した通知メールはアーカイブされるのですか？

A：Active!vault SSに使用するドメインを指定した場合は通知メールはアーカイブされます。

1.6 ユーザ検索の配送画面よりメールを再配送した場合はアーカイブされるのですか？

A：Active!vault SSから再配送されるメールはアーカイブされません。

1.7 スпамメールはアーカイブされるのですか？

A：Google Workspace、Microsoft 365 の連携によって変わります。

詳細は、別紙「Google Workspace 連携マニュアル または Microsoft 365連携マニュアル」をご覧ください。

1.8 ウィルスメールはアーカイブされるのですか？

A：Google Workspace、Microsoft 365 の連携によって変わります。

詳細は、別紙「Google Workspace 連携マニュアル または Microsoft 365連携マニュアル」をご覧ください。

1.9 スпамやウィルス系のメール判定の基準は？

A：Google Workspace、Microsoft 365 の連携によって変わります。

詳細は、別紙「Google Workspace 連携マニュアル または Microsoft 365連携マニュアル」をご覧ください。

Active!vault SS
Active! vault SS 管理者マニュアル

発行者 株式会社クオリティア
©2008 QUALITIA CO., LTD.

著作権情報

Active!vault SS のプログラムとマニュアルは、著作権法で保護された著作物で、その全部または一部を許可なく複製したり複製物を配布したり、あるいは他のコンピュータ用に変換したり、他の言語に翻訳すると、著作権の侵害となります。

ご注意

予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。また、本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

商標表示

Active!vault SS は株式会社クオリティアの登録商標です。Active!vault SS のインターフェースおよびマニュアルに記載されているその他会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

(開発元・発売元・お問い合わせ先)

株式会社クオリティア
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PMO日本橋茅場町
URL=<https://www.qualitia.co.jp/>
eMAIL=active@qualitia.co.jp
TEL=03+5623+2530 FAX=03+5623+2535
version 2.2.1